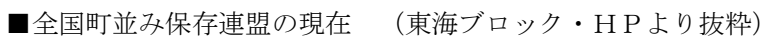
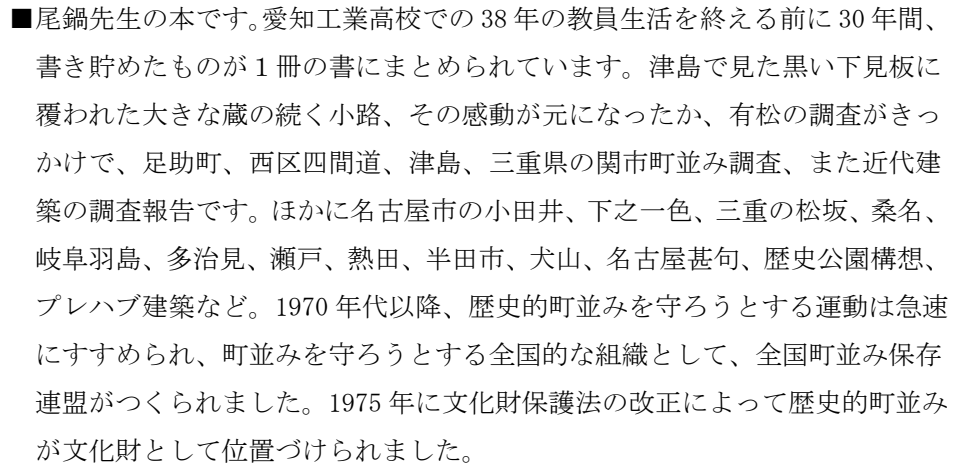


著：尾鍋昭彦（みずほ出版 2001.05）◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆



- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| ① 一般社団法人恵那市観光協会岩村支部（岐阜県恵那市） | ② 美濃の町並みを愛する会（岐阜県美濃市） |
| ③ 一般社団法人飛騨市観光協会（岐阜県飛騨市） | ④ 白川郷荻町集落の自然環境を守る会（岐阜県白川村） |
| ⑤ 有松まちづくりの会（愛知県名古屋市） | ⑤ 有松まち普請の会（愛知県名古屋市） |
| ⑥ 犬山城下町を守る会（愛知県犬山市） | ⑦ 足助観光協会（愛知県豊田市） |
| ⑧ NPO法人伊勢河崎まちづくり衆（三重県伊勢市） | ⑨ NPO法人二見・賓日館の会（三重県伊勢市） |
| ⑩ あいの会「松坂」（三重県松阪市） | ⑪ NPO東海道関宿（三重県亀山市） |

町並みと建築の講演では、金沢・倉敷・京都での条例制定、高山・旧妻籠宿等での保存に対する住民意識の高まり、有松商工共同組合で有松町保存会準備会が提案され、長野の妻籠宿、奈良の今井町、有松の三町による町並み保存連盟の結成から全国町並み保存連盟への広がりが語られます。今後の名古屋市の四間道・小田井・白壁の保存のこと、有松のかかえる問題、現状として、倉敷・高山・旧妻籠宿・有松・柳井・長浜の町並みのスライドがあったようです。また座談会では、「名古屋市は 200 万都市ですから、広小路の顔、四間道のような下町情緒の漂う一角、大須観音界限のような雰囲気など、いろいろな顔が持つ区域がいくつかあって、それが調和されて一つの街をつくる。こんな都市構成が考えられると、と思うんですけどね」とおっしゃっています。

■各報告書をよむと町歩きに行きたくなります。先日、中小田井を歩きました。家屋前を素敵な花で飾ったり、ギャラリーとして活用され、瀬戸の陶芸作家さんのかわいい生物？のような作品（工房すこっぷ・右下写真）にも出会いました。町並みや社寺を抜けると、庄内川沿いの庄内緑地公園が広がります。（案内：黒野）

